



明日も 晴れるかな

地域おこし協力隊
奮闘記

Vol. 11

空き家を修繕して

数田です。今回は空き家問題と移住定住についてお話しします。

現在、全国的に空き家問題は深刻で、約820万戸もの空き家があるそうです。大山町には約300戸の空き家があり、町も空き家の利活用と移住定住に力を注いでいます。

町では、空き家を利用してほしい人と住みたい人をつなげるために、空き家情報を管理しており、現在約30件の登録があります。

大山町に住みたいと興味を持つ人は増えていますが、空き家はあっても賃貸物件が少ない、修繕が必要で、すぐに住める物件が少ないというのが現状です。

そこで昨年の秋から、町が空き家を借り受け、町外の人材を受け入れる住宅として整備する計画が動き出しました。地域おこし協力隊もコンセプトなど企画の段階から関わっています。

そしてついに、その住宅が3月末に完成します。



▲1回目の体験企画には、10代から60代の約30人が集まりました！

交流できる住宅に

当初、どんな住宅になればいいのか検討する中で、兵庫県から移住した自分自身を振り返ってみました。知り合いがいなかった私は、まずは友達作りからはじめ、ご近所のお父さんとナイトウォーク、泊りがけでお料理教室など、さまざまな交流をさせていただき、今では知り合いがぐんと増えました。

また、移住を考えている方に出会う機会もたくさんありました。お話をうかがいながら「ぜひ、住んでみて」と思う反面、町内のどこへ行くにもガチガチに緊張していた自分を思い出しました。

「移住初期の不安は可能な限り軽減したい。地域の方と積極的に交流して、大山町暮らしを満喫しながらチャレンジして欲しい。そして、それが実現できる住宅を作りたい」と考えました。

空き家を活用した例では、上市の「コミュニティスペースまぶや」があります。できあがるまでのいろいろな過程を地域の人々が関わり、オープン以降、町外の人も立ち寄り憩いの場となっています。

このたび完成する住宅でも、地域の皆さんに気軽に足を運んでもらいたい。そして、空き家問題について「伝えたい、知ってもらいたい」との思いから、“体験企画”も行ってきました。

完成間近の3月には「仕上げの大掃除」を行います。関心のある方は、ぜひご参加ください。

仕上げの大掃除

見学も
できます

★日時：3月15日（日）14時～17時

★場所：大山町門前56-2

*汚れてもいい服装、マスク、軍手は、各自で用意ください。

駐車場は、旧フードショップはやしばらを利用できます。

◆問い合わせ先 企画情報課未来づくり戦略室・地域おこし協力隊（数田・小谷）
（080-2942-6517）